

2002年3月期

# 決算説明会



2002年 5月 2日

株式会社 CRCソリューションズ

1. 2002年3月期決算概要
2. 2002年3月期レビュー
3. 2003年3月期の見通し

# 1. 2002年3月期決算概要

# 2002年3月期決算の概要(連結)



(単位:百万円、%)

<連結>	01/03	構成比	02/03	構成比	前期比	期初計画
売上高	46,122	100.0	50,250	100.0	8.9	51,000
売上総利益	7,987	17.3	9,264	18.4	16.0	---
営業利益	2,651	5.7	3,479	6.9	31.2	3,000
経常利益	2,808	6.1	3,573	7.1	27.2	3,100
当期利益	1,478	3.2	1,823	3.6	23.3	1,700
受注高	46,437		50,371		8.5	
受注残	5,689		5,811		2.1	

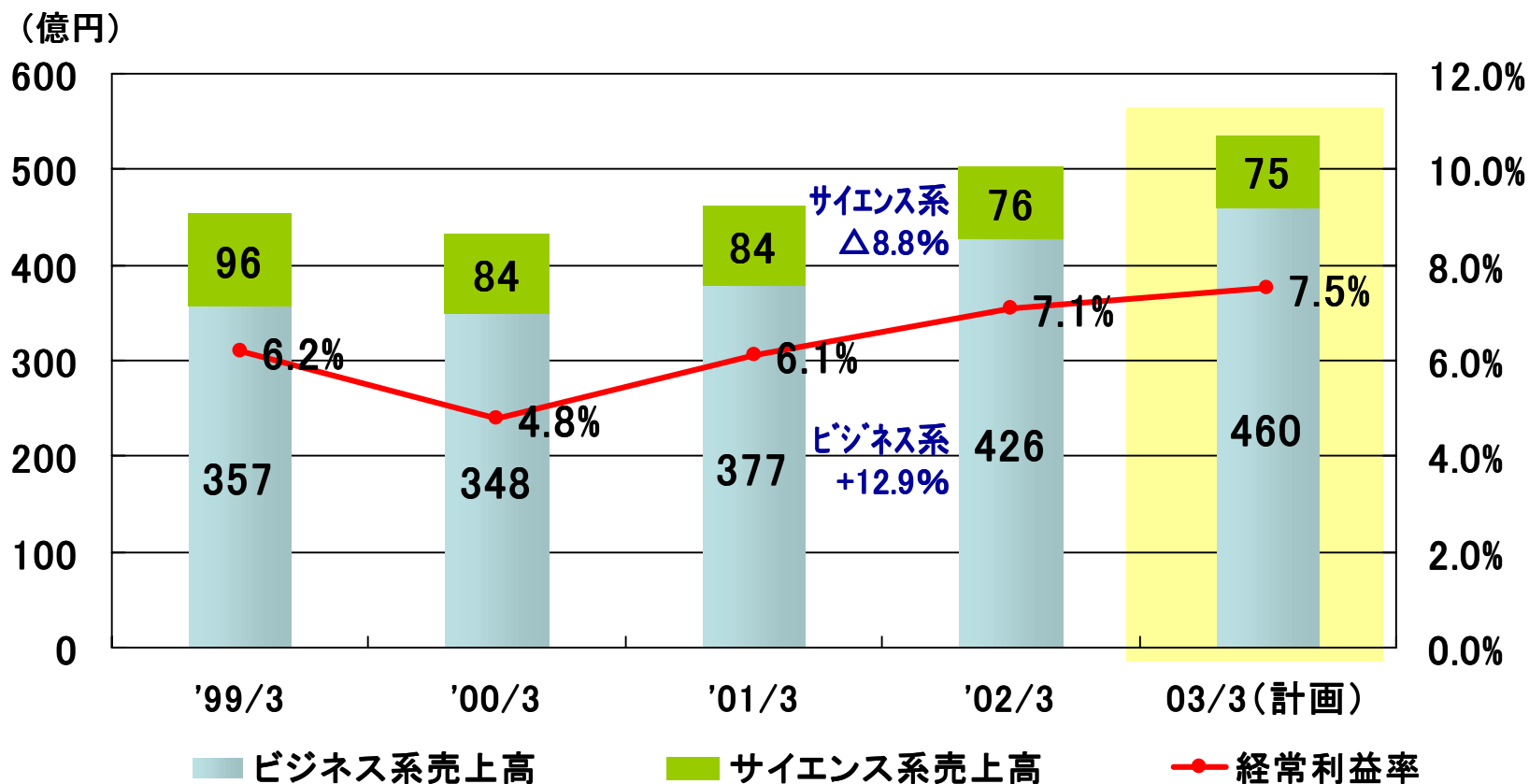
# 2002年3月期決算の概要(単体)



(単位:百万円、%)

<単体>	01/03	構成比	02/03	構成比	前期比	期初計画
売上高	39,011	100.0	42,826	100.0	9.7	43,000
売上総利益	5,730	14.7	6,679	15.6	16.5	---
営業利益	1,659	4.3	2,226	5.2	34.1	2,000
経常利益	1,829	4.7	2,413	5.6	31.9	2,100
当期利益	1,064	2.7	1,249	2.9	17.3	1,200
受注高	39,488		42,861		8.5	
受注残	5,563		5,598		0.6	

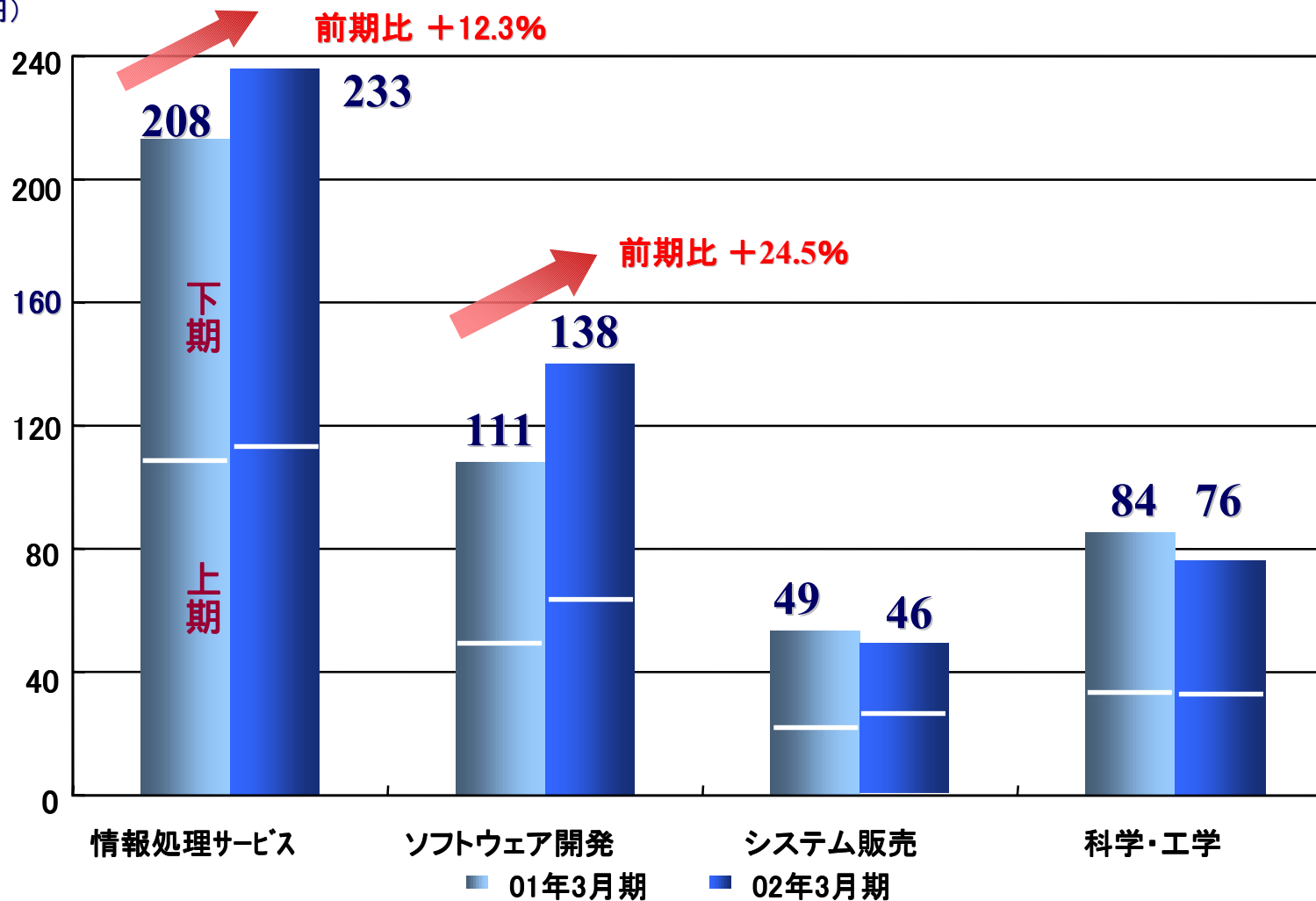
# 売上高と経常利益率(連結)の推移



	'99/3月期	'00/3月期	'01/3月期	'02/3月期	'03/3月期(計画)
ROE	12.1%	11.2%	14.4%	14.8%	16%
ROA	5.3%	4.9%	6.4%	6.9%	8%

# 事業別売上高(連結)の前期比

(億円)



ビジネス系事業

サイエンス系事業

# 売上高(連結)増減要因

## ◆情報処理サービス 233億円 (前期比+25億円)

- ➡ データセンター3拠点の積極的な事業展開
- ➡ 流通システム運用業務の着実な増加

## ◆ソフトウェア開発 138億円 (前期比+27億円)

- ➡ 大手流通関連の基幹システム開発の増加

## ◆科学・工学系 76億円 (前期比△8.0億円)

- ➡ 不採算事業の抜本的見直し
- ➡ 環境分野からの撤退
- ➡ 一方で新たに成長が期待出来る分野への注力

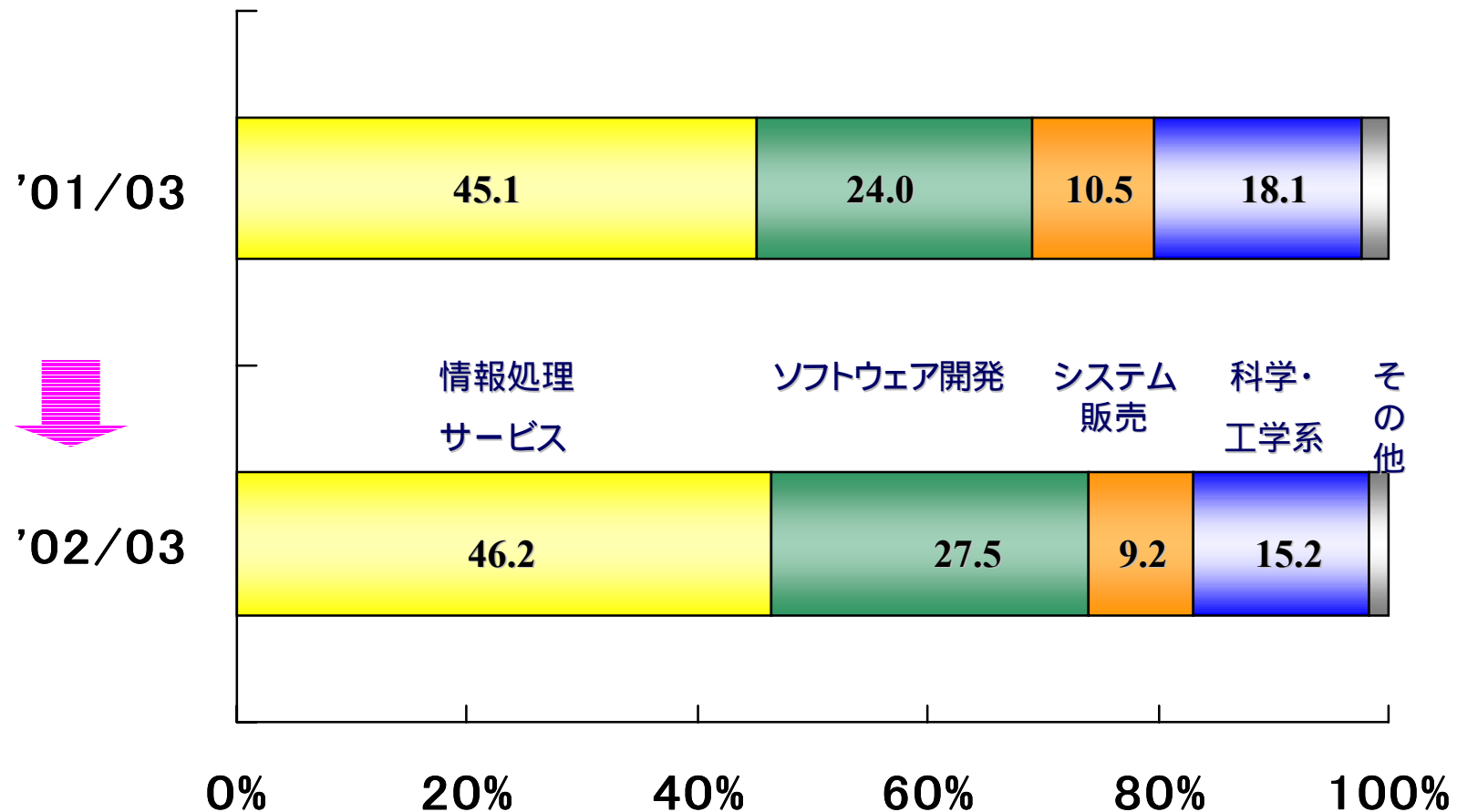


# 事業別売上総利益(連結)

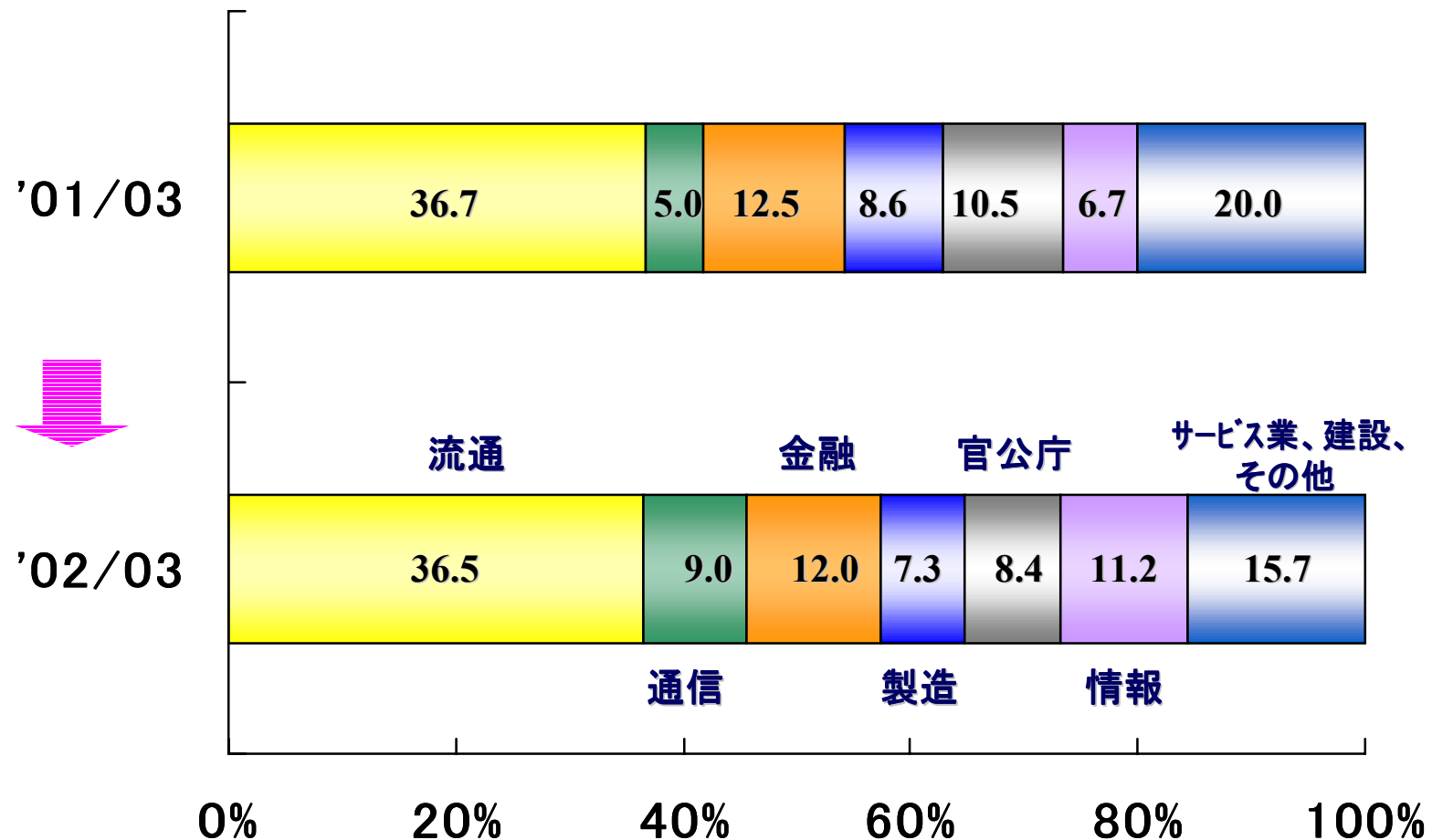


		売上総利益率	売上総利益額順位
ビジネス	情報処理サービス		
	ソフトウェア開発		
	システム販売		
サイエンス	科学・工学系		
売上総利益(平均)		<b>18.4%</b>	

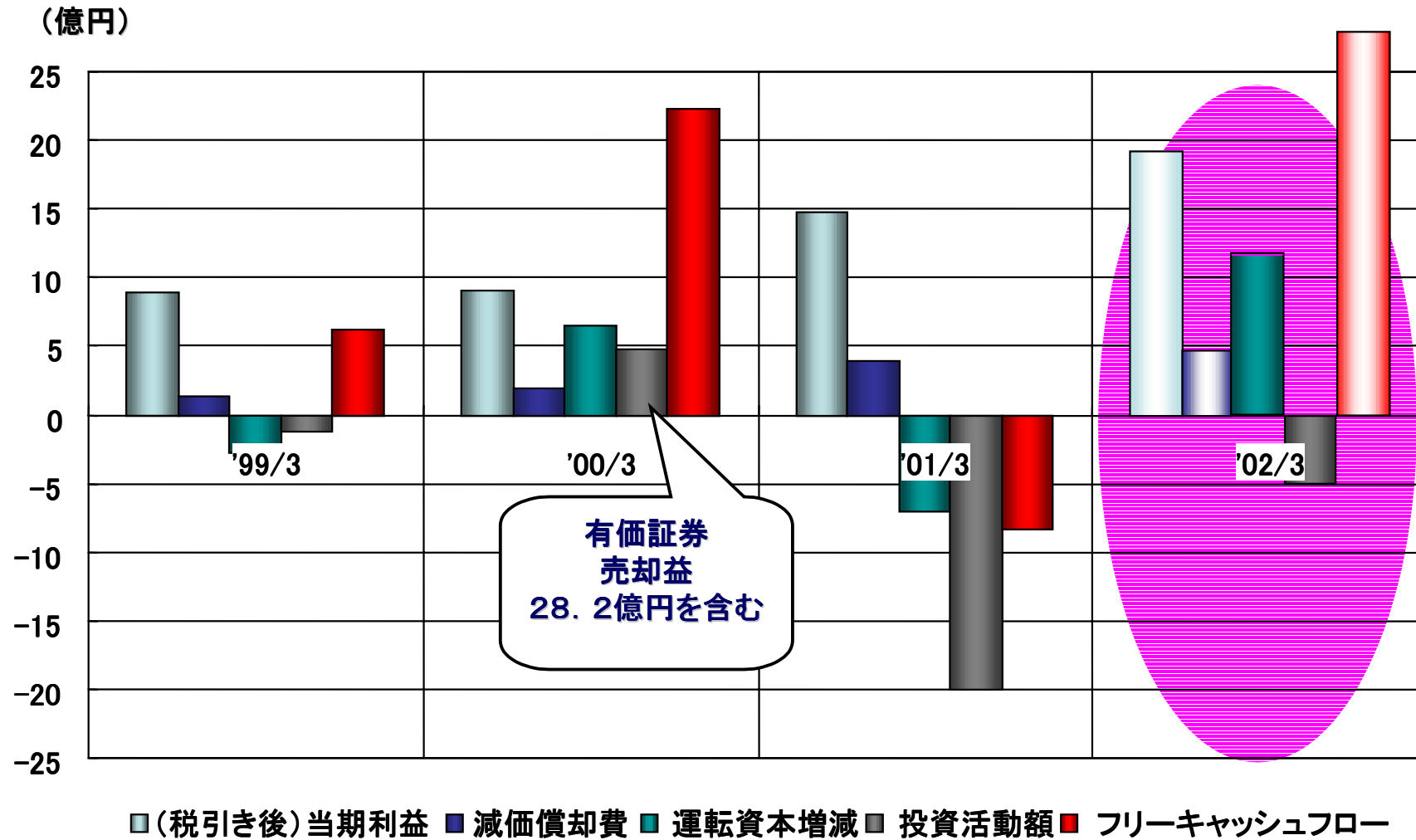
# 事業別売上高(連結)の構成比



# 業種別売上高(連結)の構成比



# 投資活動とフリーキャッシュフロー額の推移



フリーキャッシュフローの定義 = (税引き後)当期利益 + 減価償却費 + 運転資本増減 - 投資活動額

## 2. 2002年3月期決算レビュー

## ①情報処理サービス:

- ・3拠点のデータセンターを中核とした事業展開
- ・ネットワーク関連ビジネスに注力  
(ネットワークインテグレーション、セキュリティビジネス、ASP、BtoBなど)

## ②ソフトウェア開発:

- ・流通分野／主要顧客の拡充
- ・アライアンスの強化
- ・ERP(SAP)に注力

## ① 情報処理サービス

- ・3拠点のデータセンターを中核とした事業展開
  - ・横浜、神戸、大手町の特徴を活かしたDC事業展開の実施  
(基幹システム、ディザスタリカバリセンター(DRC)、iDC)
  - ・有力なパートナーとの連携強化  
(伊藤忠商事、CTC、大手ISP、大手コンサル、大手H/Wベンダー)
  - ・CRCグループの総合力を活かしたMSPの展開
  - ・認証取得
    - SunTone取得: 米国サンマイクロ社のサービス品質認定プログラムで、日本で最初に合格
    - ISMS取得

## ①情報処理サービス

- ・ネットワーク関連ビジネスに注力
  - ・ネットワークインテグレーション  
企業統合に伴うネットワークインフラ等情報基盤の構築・整備
  - ・トータルセキュリティ・サービス(コンサルから構築、教育まで)  
TrustedOSを用いたセキュリティシステムの構築  
ファイアーウォールの構築と運用代行サービス(現24社)
- ・ISP/ASP  
EarthLogin(認証)、EarthPromotion(DM配信)などメニューの多様化
- ・CRMソリューション  
大型コールセンターシステムの構築



## ②ソフトウェア開発

- ・流通分野/主要顧客の拡充
  - ・伊藤忠商事向け大型基幹システム案件
  - ・伊藤忠商事グループ向け取引の拡大
    - ・コンビニ向けシステム開発&運用
    - ・食品卸基幹システム開発&運用
- ・アライアンスの強化
  - ・ISS、NAiSとの提携による今後の発展の基礎作り

# 2002年3月期 ビジネス系 具体的活動



## アイ・エイチ・アイシステムズ

(ISS)

(石川島播磨重工業系)

売上高：6,560百万円(02年3月期)

資本金：180百万円(〃)

従業員数：380名(〃)

## アサヒビジネスソリューションズ

(NAIS)

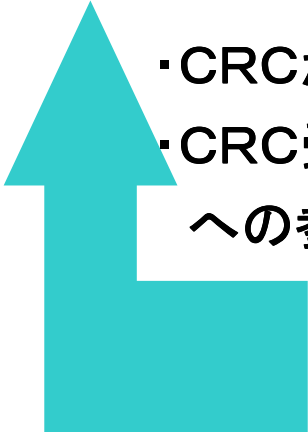
(アサヒビール系)

売上高：9,358百万円(02年12月期)


資本金：110百万円(〃)

従業員数：160名(〃)

### 人材の確保

- 
- ・CRCからの業務委託
  - ・CRC受託のプロジェクトへの参加

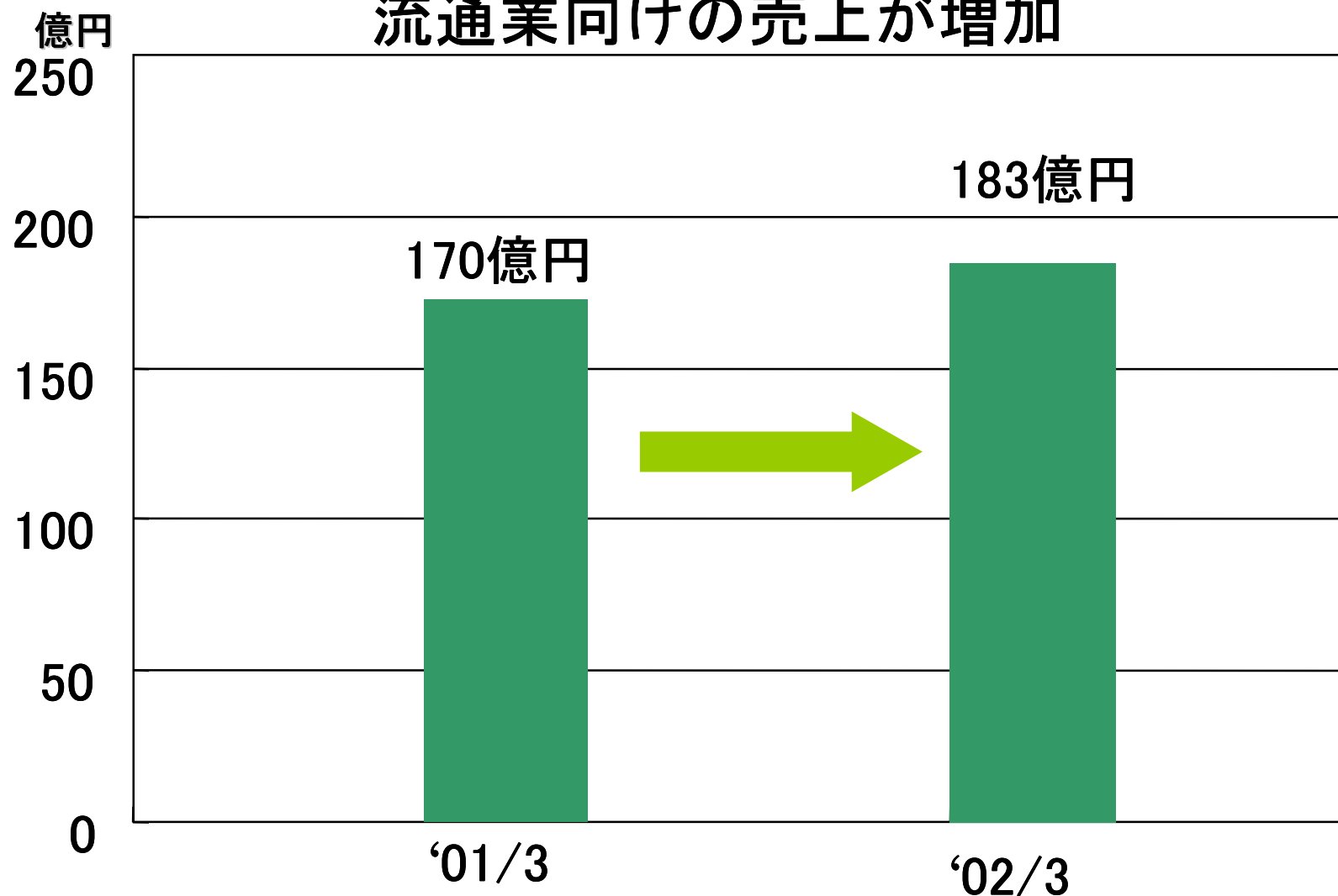
### メーカーへの顧客基盤拡大

- 
- ・経営改革支援
  - ・システム開発、システム運営の受託体制の確立

CRCソリューションズ

# 2002年3月期 ビジネス系レビュー

## 流通業向けの売上が増加



## ・気象分野

### ・気象情報提供

- ・weather-eyeによるHP等での情報提供

- ・花粉情報

### ・気象データ解析

- ・風力発電、太陽光発電

- ・長期予報

- ・津波、波浪予測

## ・ライフサイエンス分野

### ・CRO業務

- ・医薬品アウトソーシング業務受託

- ・医薬品開発におけるIT化促進による品質向上、スピードアップ、安全性確保に寄与

### ・バイオインフォマティクス分野

- ・BIセンター運用準備。2002/4/1運用開始。

## 3. 2003年3月期の見通し

# 2003年3月期 経営環境の主な変化

## (外部環境)

- ・企業の情報化投資は引き続き堅調な推移が期待されるが、短期的には業況変化への注意が必要
- ・金融システム統合が峠を越す

## (競合環境)

- ・ハードメーカーのソフト市場への重点シフト
- ・ソフト開発の海外シフト等グローバル化の進展

市場の需給バランスに変化の兆し



「高品質化とコスト競争力強化」により、Customer Satisfaction のさらなる向上を図ることが必要

- 高度なITサービスの提供により、Customer Satisfaction 向上を図るとともに、コアコンピタンス確立により高成長実現を目指し、企業価値向上を図る
- 2002年度は、2003年度以降におけるさらなる飛躍に向けた基礎固めの年、と位置付ける

# 2003年3月期決算の計画(連結)



(単位:百万円、%)

<連結>	02/3期	構成比	03/3期	構成比	前年増減比
売上高	50,250	100.0	53,500	100.0	6.5
売上総利益	9,264	18.4	9,900	18.5	6.9
営業利益	3,479	6.9	3,900	7.3	12.1
経常利益	3,573	7.1	4,000	7.5	11.9
当期利益	1,823	3.6	2,200	4.1	20.6
設備投資総額	494		1,500 (予定)		

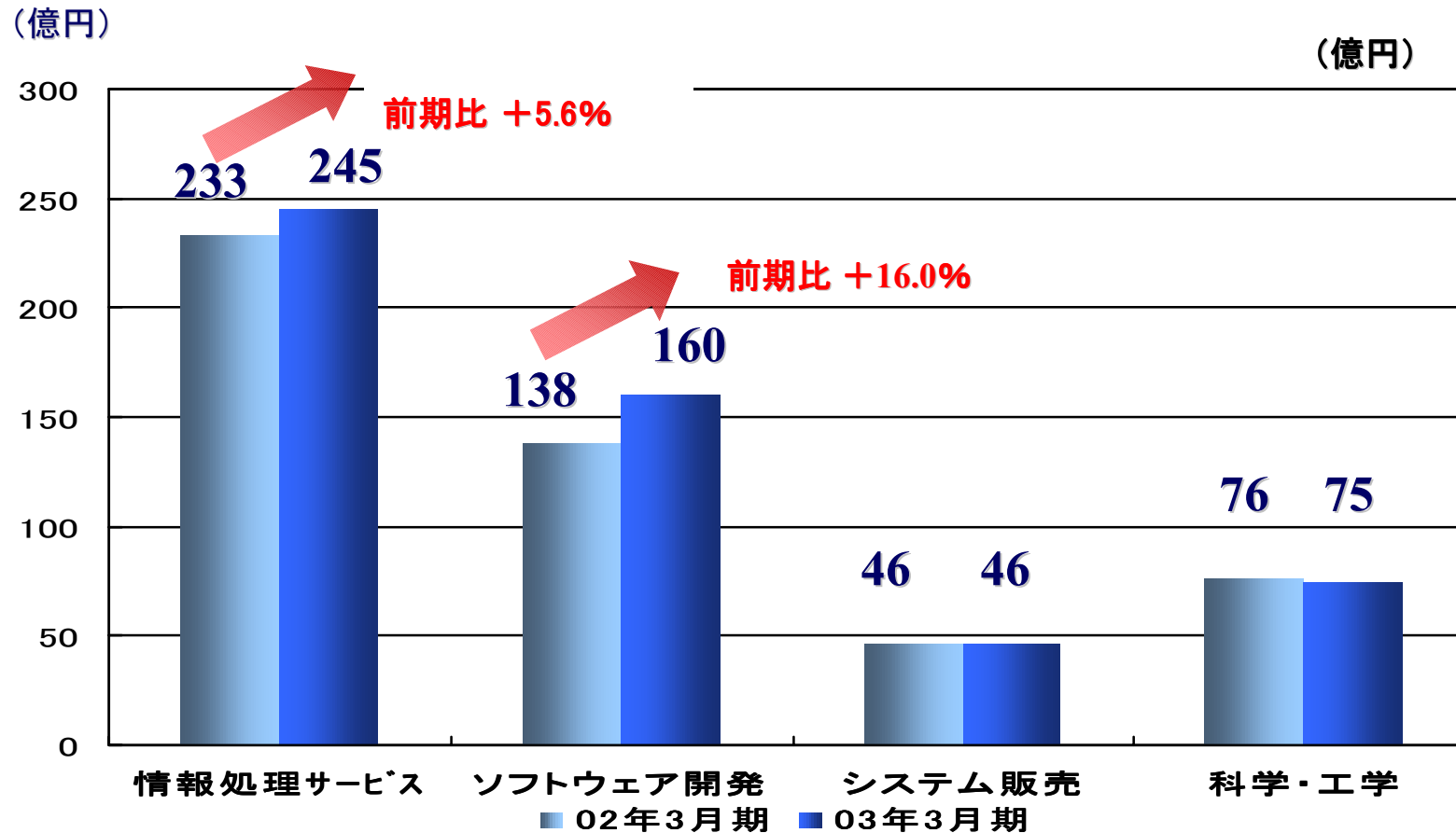


# 2003年3月期決算の計画(単体)

(単位:百万円、%)

<単体>	02/3期	構成比	03/3期	構成比	前年増減比
売上高	42,826	100.0	45,500	100.0	6.2
売上総利益	6,679	15.6	7,200	13.5	7.8
営業利益	2,226	5.2	2,600	4.9	16.8
経常利益	2,413	5.6	2,800	5.2	16.0
当期利益	1,249	2.9	1,500	3.3	20.1

# 事業別売上高の増減見通し(連結)



## ☆コアコンピタンスの確立

### ○データセンター事業の早期収益基盤の確立

- ・大手町データセンターの早期軌道化
  - ・データセンター3拠点のシナジー効果による顧客層拡大
  - ・セキュリティ強化のための設備投資
- ⇒2003年度、データセンター事業の本格収益化

### ○戦略的提携事業の早期軌道化

- ・NAiSの体制強化と、運用/開発案件取り組み開始
  - ・ISSの特徴を活かす業務分野への取り組み拡大
- ⇒2003年度、具体的ビジネスの取り込み

## ☆コアコンピタンスの拡充

### ○ネットワーク分野でのビジネス領域拡大

- ・ISP、ASP事業の収益化
- ・インフラ提供→付加価値を付けた基盤提供
- ・セキュリティ関連ビジネスの拡大
- ・ブロードバンド、モバイル、eCTI、eCRM融合型ビジネスの開拓

### ○ERP分野でのビジネス基盤拡充

- ・伊藤忠商事のSAP導入基幹部分完了→他社のSAP導入支援
- ・コンサル要員拡充と能力アップ

## ☆さらなる高品質化とコスト競争力強化

### ○開発効率向上

- ・情報共有、Knowledge Managementの強化
- ・品質管理強化(プロジェクトリーダーの育成、リスクアセスメント体制の強化)
- ・CISCOL(中国における開発拠点)を中心とした外注戦力の活用

### ○人事制度、業績評価制度の継続的な改革

- ・人材確保、育成
- ・Pay For Performance
- ・年金制度の見直し

2002年3月期

# 決算説明会



2002年 5月 2日

株式会社 CRCソリューションズ